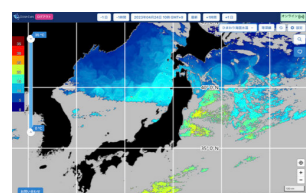


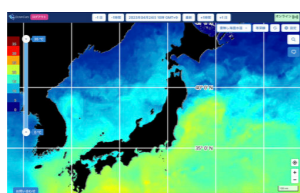
漁場ナビ

SEAoMEで使われているモデルデータや衛星画像データの中から、漁場探索・操業可否判断に有用なデータを多層マップ表示するパッケージとして「漁場ナビ」シリーズを提供しています。

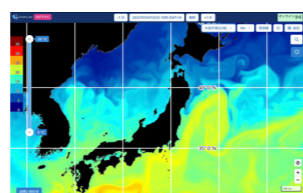
◆ 船団や長期での操業の計画立案に便利な遠洋・沖合向け「漁場ナビPro」



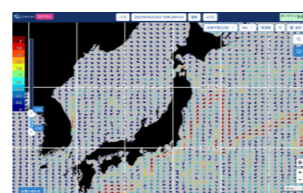
ひまわり海面水温



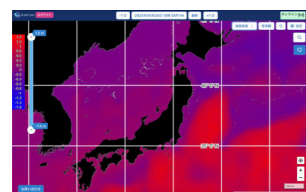
「雲除去」海面水温



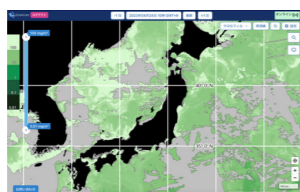
水温予測
(日本沿岸・広域)



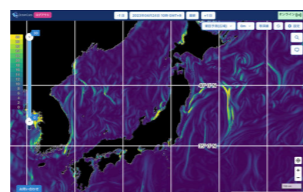
流速予測
(日本沿岸・広域)



海面高度

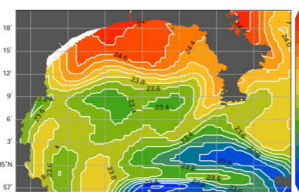


クロロフィル分布

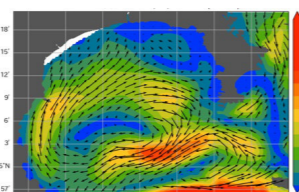


潮目

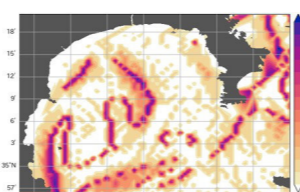
◆ 沿岸での効率的な操業をサポートする「漁場ナビスタンダード」



水温 (表層・中層)



潮流 (表層・中層)



潮目 (表層・中層)

まずは下記メールアドレスもしくは公式LINEよりお問い合わせください！



株式会社オーシャンアイズ

oceaneyes.co.jp

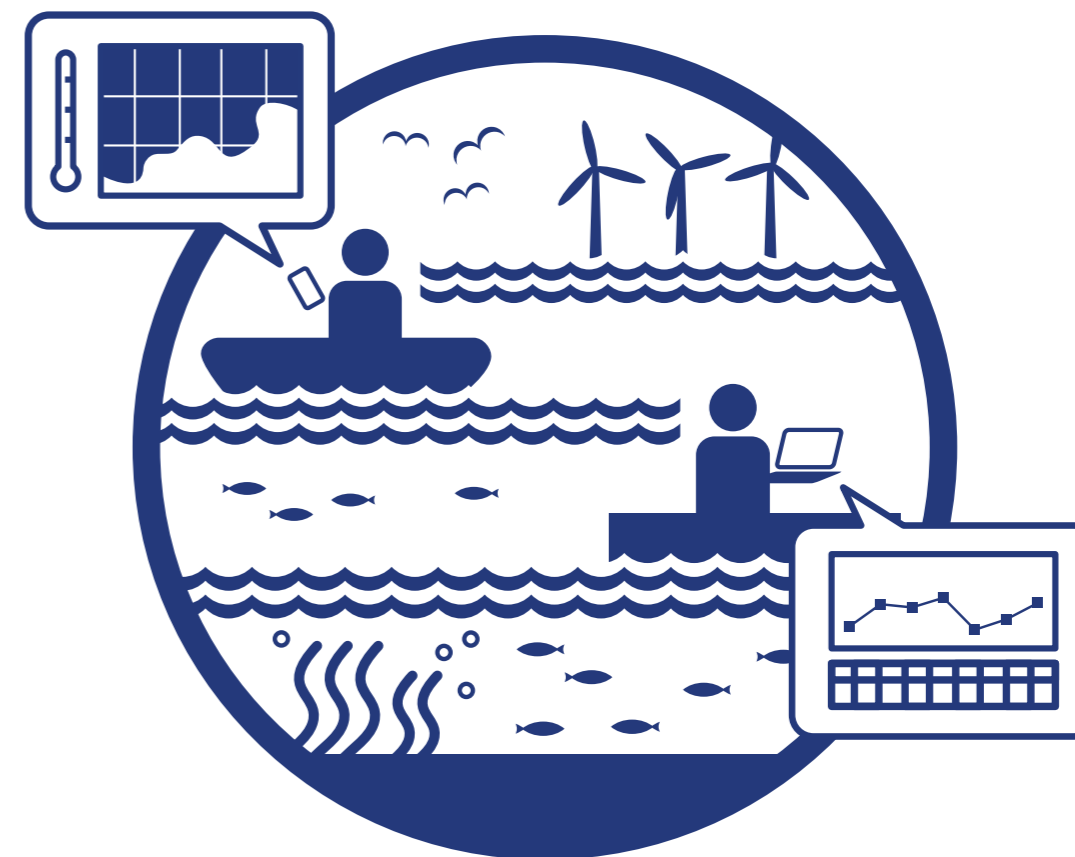
info@oceaneyes.co.jp



公式LINE
@884ooqmy

SEAoME

System for Estimate and Analysis of Marine Environment



必要な人に必要な情報を必要な形で！

企業や自治体向けのカスタマイズ開発サービス！

マップ表示や時系列表示で海の見える化をサポート！

海洋学的知見に基づいた解析で操業の効率化！
運航の安全性向上などをサポート！



予測データと観測データのレイヤー表示・統合解析で海況情報発信の統合プラットフォームとして利用！



詳細な海況観測・予測データ・解析結果を高頻度で配信！



スマートフォン・タブレット・PCといったマルチプラットフォームに対応！



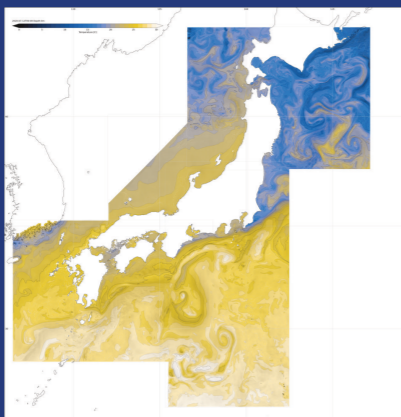
数値モデルや画像処理による 海況データの解析

▶ 日本沿岸海況予測システム

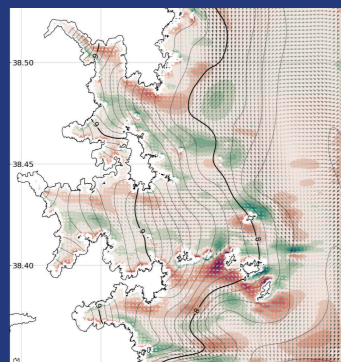
日本周辺海域の最大 10 日先までの海況予測を水平およそ 1.6km 格子で日々更新するシステム。

東京湾、駿河湾、大阪湾などの内湾の海洋環境も再現します。

海面から海底までのデータを出力
 ■ 流速・水温 (1時間ごと)
 ■ 塩分 (6時間ごと)



日本周辺海況予測システムの予測範囲



▶ 高解像度沿岸モデル

日本周辺海況予測システムを元により高解像度な海況予測モデルを構築します。

小規模な湾内での詳細な潮流の分布の把握などに役立ちます。

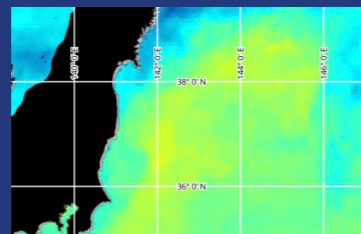
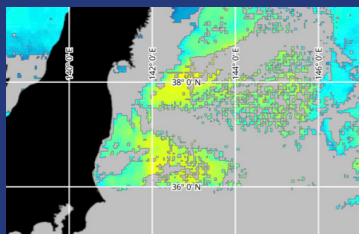
▶ 観測データ・予測データ解析

取得した観測データと日本周辺海況予測システムの過去データを組み合わせた統計的予測システムを構築します。

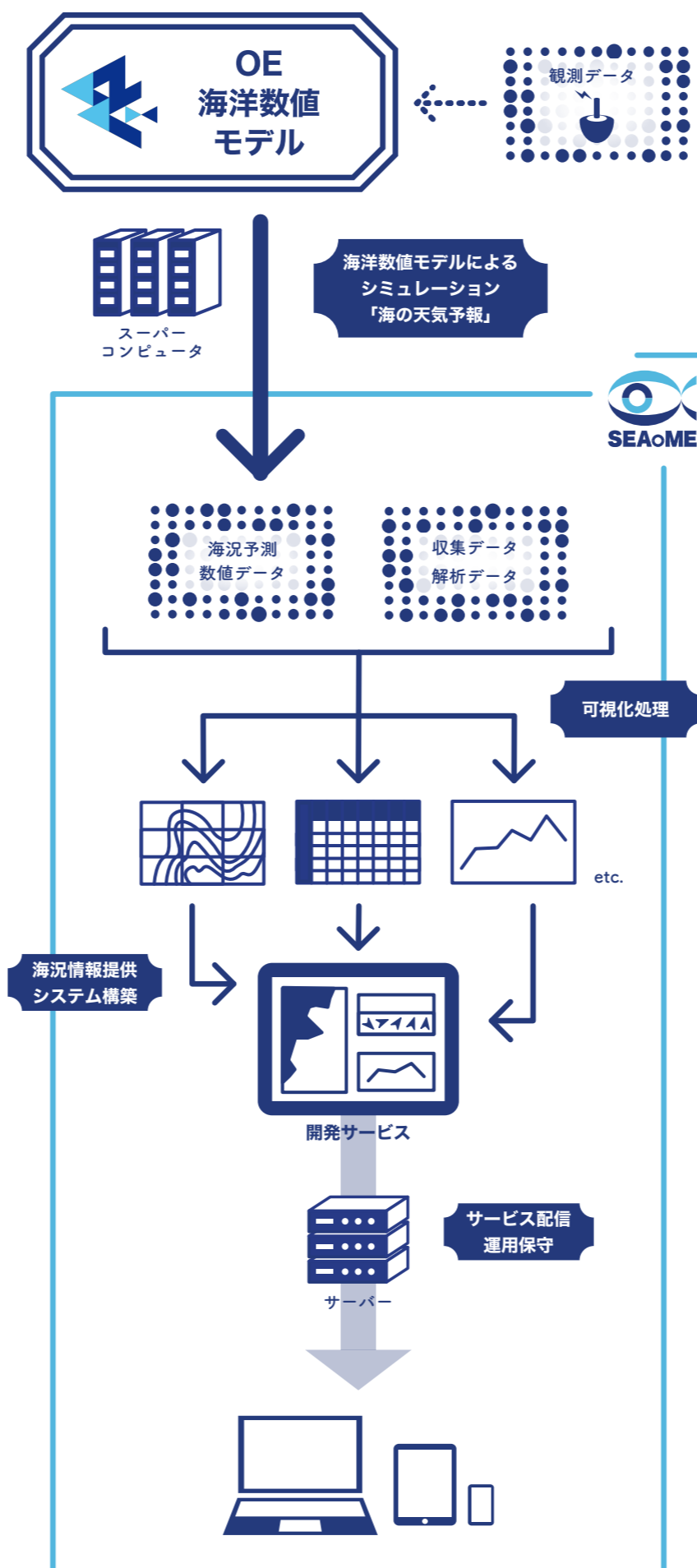
粒子追跡手法を用いた卵稚子や物質の移動・拡散予測など、データと海洋学的な知見を組み合わせ、より高度な解析システムを開発します。

▶ 衛星画像処理システム (雲除去システム)

海洋環境の観測で主に使われる人工衛星の可視・近赤外の電磁波は、雲域の下を観測できません。そのような欠測域を機械学習を用いて推定することで、途切れない観測データを作成します。



SEAoME サービスフロー



*サービスフローはあくまで一例です。
 既存サービスへ導入される場合には、海況予測数値データや、マップ・グラフ等の可視化データの形での提供も可能です。

公開データの収集や 利用しやすいデータ形式への変換

▶ 現場観測データの収集

インターネットを通して公開される海洋環境情報を時々刻々収集します。海洋学的知見に基づいたデータベースの構築、品質管理なども可能です。

お客様からいただいた現場観測データを日本周辺海況予測システムに取り込み、提供する予測データの精度向上に利用することもできます。

表計算ソフトで読み込みができないフォーマットであったために未活用データのデータなどの変換システム構築も行います。

▶ 気象予測・海況予測GPVの収集・処理

数値モデル等の出力である GPV (Grid Point Value : 格子点値) は、データ容量削減のために特殊なファイル形式で配信されるため、データの扱いにも専門的な知識が必要です。

気象・海況を問わずデータを収集し、保存しやすい、あるいは利用しやすいファイル形式への変換を行います。

解析データをマップやグラフ化 配信システムの構築も

▶ 海洋環境変数の水平分布・時系列の可視化

「観測データ・予測データ解析」により得られた結果をわかりやすく表示します。解釈が難しくなりがちな解析結果を、海洋学的知見を取り入れて可視化することで、実際の経済活動に利用できるシステムとして提供することができます。

▶ データ解析結果の可視化

解析や収集により得られたデータを水平分布図 (マップ) や時系列グラフとして表示します。

海洋数値モデルの出力をはじめとした GPV については、適切な後処理を施すことで、任意の地点・深度におけるデータの表示が可能になります。

Visualize

Collect and compile

Analyze